ロシアマフィアに逮捕状

麻薬密売で県警　船員抱き込み運搬指示

イラン人組織が本県を含む北関東三県で大量に大麻などの麻薬を密売していた事件で、貨物船員を仲間に引き込んで日本国内のイラン人に大量の麻薬を譲り渡していたなどとして、県警と富山県警の合同捜査本部は十九日までに、大麻取締法違反の疑いで、ロシアマフィアとみられる三十代の男の逮捕状を取り、行方を追っている。合同捜査本部は、ロシアマフィアが傘下のナホトカを出航する貨物船に目を付け、船員を仲間にしたり、マフィアの構成員自身が船員になりすますなどして日本国内に大量の麻薬を持ち込んでいるとみて調べている。

調べによると、マフィアの男はロシア国籍の船員、イブラギモフ・ラギム・ベユアガ・オグリ被告（四三）＝麻薬特例法違反罪などで起訴済み＝ら共謀し、昨年十一月五日午後二時半ごろ、富山市草島の神通川堤防上で、イラン人の男二人＝いずれも国籍不明＝らに覚せい剤約二キロを渡したとみている。

麻取締法違反罪などで公判中＝に大麻約五キロ＝三百五十万円で譲り渡した疑い。

これまでの調べで、男は定期的に富山港から日本に上陸。以前入手しておいた携帯電話を使ってイラン人グループの出先機関とみられるアジアの密輸組織とコンタクトを取っていたとみている。

ロシア人船員になりすまして七度港から密入国したとみられる。こうしたことから、県警はイラン人組織とロシアマフィアが密接につながっているとみて、ナホトカ港などを捜査している。

薬の受け渡し場所などを決めていたらしい。

イラン人組織の中には、ブローカーを介し、ロシア経由で昨年九月、石川県七尾港から密入国したとみられる者もいる。こうしたことから、県警はイラン人組織とロシアマフィアが密接につながっているとみて、ナホトカ港などを捜査している。

これまでの取り調べで対象になっている疑いが高いとみており、会長解明を急いでいる。

これまでの取り調べで対象になっている疑いが高いとみており、会長解明を急いでいる。

オグリ被告が「マフィアに頼まれて麻薬を運んだ。実際に乗船したマフィアもいた」などと供述していたことから、合同捜査本部で男の割り出しを進めていた。

イラン人麻薬密売人に8年求刑　前橋地裁

イラン人組織による麻薬密売事件で、大麻取締法違反などの罪に問われたイラン国籍の柳木良南同市町下坪山、中古自動車販売業ジャバド・アリサザ・サルディハイ被告三（三）の論告求刑公判が十九日、前橋地裁（長谷川憲三裁判長）で開かれた。検察側は「多種多様な薬物を所持しており、責任は重大。日本社会に害悪を撒いたなどと危険性も十分」として懲役八年、罰金二百五十万円を求刑した。

論告によると、サルデハイ被告は同国籍の茨城県下館市出水、無職、ザリ・ファレイドン被告三（三）と共謀し、昨年十一月五日午後三時半ごろ、富山市草島の神通川堤防上で、ロシア国籍の船員、イブラギモフ・ラギム・ベユアガ・オグリ被告（四二）＝麻薬特例法違反罪などで起訴済み＝から大麻約五キロを三百万円で譲り受けるなどした。

あへん法違反の罪に問われているフェレイドン被告の第二回公判も同日、同地裁（阿部浩己裁判官）で開かれ、同被告は「サルデハイから被告（四二）に大麻約五キロを三百万円で譲り受けるなどした。

三時半ごろ、富山市草島の神通川堤防上で、ロシア国籍の船員、イブラギモフ・ラギム・ベユアガ・オグリ被告（四二）＝麻薬特例法違反罪などで起訴済み＝から大麻約五キロを三百万円で譲り受けるなどした。

あへん法違反の罪に問われているフェレイドン被告の第二回公判も同日、同地裁（阿部浩己裁判官）で開かれ、同被告は「サルデハイから被告（四二）に大麻約五キロを三百万円で譲り受けるなどした。

男子中学生狙う

榛東　不審な男性グループ　声かけ車に監禁も

榛東村内で男子中学生を狙って、声をかけたり、車に乗せたりする不審な若い男のグループが出没。榛東マップを村内全戸に配布し、警戒を強めている。今年秋頃から、村内の小学生が「知らない男の人に車に乗せられて、二時間以上監禁された。怖くて逃げられなかった」などと相次いで訴えているという。

榛東村内では月中旬に男子中学生が声をかけられ、ワゴン車に乗せられて、二時間以上にわたって監禁される事件が発生。その後も不審者が続いたことから、RPA村内の二小学校のPTAと協力しながら、下校時のパトロールに取り組んできた。

パトロールは村内一十一人で、毎週金曜日の午後六一七時まで実施。二人一組で地区内を巡り、不審な車両や人物を発見した際ではパトロール車ステッカーを張って巡回するパトロール車

ステッカーを張って巡回するパトロール車

ステッカーを張って巡回するパトロール車

後、村や川島町とも連携し、パトロールを強化する。

PTAによると、同村内の中学生、放課後の帰宅途中、二十一三十代の男に「こっちに来て」と一手伝ってくれ」などと声をかけられ、近くで車あり、別の二十一人の男が待ち受けていた。中には強いられたケースもあったという。

事件直後から学校側がパトロールを始めたとしかし、その後も不審者が続いたことから、RPA村内の二小学校のPTAと協力しながら、下校時のパトロールに取り組んできた。

パトロールは村内一十一人で、毎週金曜日の午後六一七時まで実施。二人一組で地区内を巡り、不審な車両や人物を発見した際

次の日は休みがいいです。

成人の日

二〇〇一年の「成人の日」の記念行事を県内二人数などで「成人の日」にかかわる調査を実施して、月七日に行うことが十九日、県青少年こども課のまとめで分かった。記念行事の習わしが休日となるため、新成人が参加しやすいとの理由が八日があるため、市町村が同日に記念行事を計画。二十四市町村が一日早い七日開催を予定している。また、富城七十市町村を対象に実村は六日、中里村は正月

24市町村が1日前倒し

二〇〇一年の「成人の日」の記念行事を県内二人数などで「成人の日」にかかわる調査を実施して、月七日に行うことが十九日、県青少年こども課のまとめで分かった。記念行事の習わしが休日となるため、新成人が参加しやすいとの理由が八日があるため、市町村が同日に記念行事を計画。二十四市町村が一日早い七日開催を予定している。また、富城七十市町村を対象に実村は六日、中里村は正月

新成人らの希望に配慮？

記念行事で県調査

祝日法の改正にともない、今年から「成人の日」は「月第二月曜日と規定され、二〇一年は一月」となっている。

成人の日の前日に変更した太田市が新成人に対する市町村も増加し、

連続放火男を逮捕

複数の犯行認め「むしゃくしゃしてた」

境署

境町で今月七日から連続して発生した不審火を捜査していた境署は十九日、放火疑いで境町内、住人、榊原孝容疑者（三）を逮捕した。

全焼した空き家で現場検証する消防署員＝9日、境町内

調べによると、榊原容疑者は十一日午前一時四十分ごろ、境町上武士の民家の空き家約十五平方メートルを放火した疑い。生活垣に放火したとして、榊原容疑者は木造平屋建て木造平屋建ての空き家約十五平方メートルを放火した疑い。生活垣が燃えているのを通行人が発見、家人や近所の人が消し止めた。

境町内では七日未明、萩原で立て不審火が発生していたところ、十九日未明、榊原容疑者が上武士の民家の生け垣に火を付けようとしているのを発見、取り押さえた。

調べによると、榊原容疑者は「むしゃくしゃしてる」と供述しているという。

榊原容疑者は金属の空き家を除く複数の事件について、同市内の住人